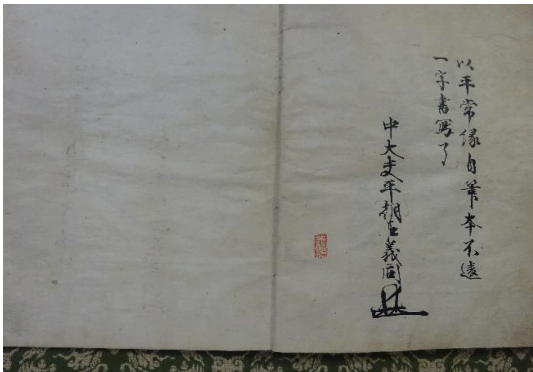
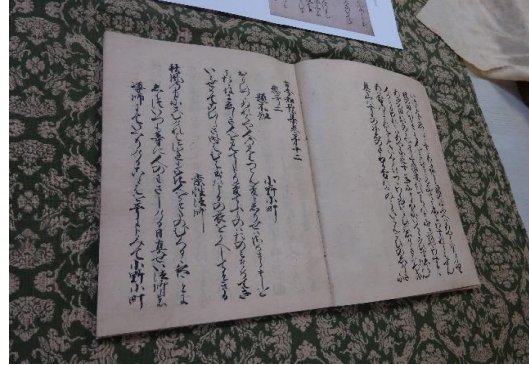
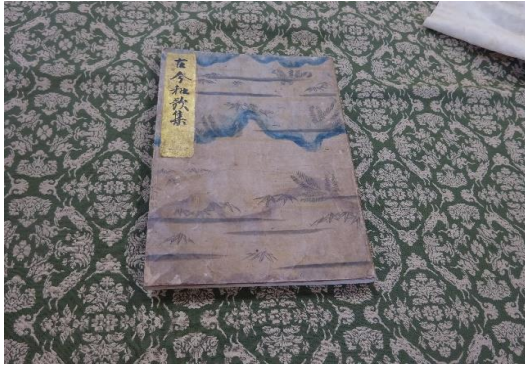




三浦道寸と古今和歌集の関係は？ 協力

概要： 三浦市学校教育研究会中学校社会科部会が、三浦道寸の古今和歌集の写本について講義を受けた。 中学校教員



実施内容

1. **実施校** 三浦市学校教育研究会中学校社会科部会
2. **目的** 三浦道寸が古今和歌集を写していたことを知り、今後の郷土学習に生かす。
3. **内容** 戦国時代の武将三浦道寸が文化にも造詣が深かったことの説明を受けたあと、直筆の古今和歌集の写本の実物を見る。
4. **日時** 平成28年 10月5日(水) 15:00～16:30
5. **場所** 圓照寺(三浦市三崎4丁目)
6. **参加者** 中学校社会科教員7名、研究所職員
7. **指導者** 道寸研究会副会長 宮本重博氏、圓照寺住職 稲垣秀夫氏
8. **持ち物**

当日の様子

○最初に、講師の宮本氏より、三浦道寸と古今和歌集の関係について約1時間の講義があった。三浦道寸が、北条早雲と戦った武将であるとともに、和歌にも造詣が深く、古くからの作法に則り、古今和歌集の書写を許されたことに驚いた。

○その後、三浦道寸が写した古今和歌集の実物(圓照寺所蔵)を見た。たいへん達筆で、原本に忠実に書いていることが分かった。貴重な資料に触れることができ、撮影も許された。

○参加者からは、「授業に生かせる資料でありがたい」「貴重な資料を見ることができてよかった」等の声が聞かれた。